

Nishiaizu



8 | 広報にしあいづ
August. 2016 (平成28年) No.694

特集

LIFE WITH NISHIAIZU

西会津のある暮らし P2~

P 6 福島ホープス3連戦フォトギャラリー

P 7 まちからのお知らせ&ニュース

P 8 まちの話題

自然を身近に感じられること。
住んでいると気が付かない、
都会にはない幸せ。



LIFE WITH NISHIAIZU

西会津のある暮らし

西会津のある暮らし
相談室の取り組み

注目される「移住」

近年、人口減少と空き家の増加が全国的な課題となっています。町の人口は、1950年の19,611人をピークに減少傾向が続き、最近では、過去10年以上にわたり毎年150人程度の人口減少が続いています。このままの状態が続けば、24年後の2040年には町の人口が3000人を割るところまで減少すると町の人口ビジョンでは試算しています。こうなってしまうと、集落の機能を維持できないばかりか、最悪の場合、集落が消滅してしまう可能性さえあります。

そこで今、移住による「地域の担い手」を増やす取り組みが全国的に注目されています。古里に帰ってくるUターンはもとより、IターンやJターンなどの移住で「地域の担い手」を増やしていくことができれば、町の未来は変えられる可能性があります。

4組が町に移住

町では、昨年10月から西会

津国際芸術村内に「西会津のある暮らし相談室」を設置し、移住希望者の相談に応じています。相談件数は延べ25件（平成28年6月現在）に上り、実際に4組の皆さんが町に移住しました。

「西会津のある暮らし相談室」の設置以降、相談件数は確実に増加し、これは今後もあると見込まれています。

しかし、現在は「西会津に住みたい」という人が相談に来ても、紹介できる空き家物件が少ないことが課題となっています。近年急激に増加している空き家は、町内に500軒以上存在していることが町の調査で分かっています（平成27年度調べ）。空き家は、人が居住・管理しないことで傷みが早くなるほか、害虫の温床となったり、ときには防犯・防火の面でも好ましくない状況になったりします。

もし、まだ使える空き家を所有している場合は、ぜひ一度「西会津のある暮らし相談室」にご相談ください。

西会津のある暮らし相談室

☎ 47-3200

INTERVIEW



荒海 正人 (あらうみ・まさと)

平成26年に町地域おこし協力隊員としてUターン。移住定住事業を担当し、現在は空き家調査や移住相談などの業務に奮闘中。小綱木出身。

皆

さん初めまして。西会津のある暮らし相談室の荒海です。最近、全国から移住の問い合わせが相談室に多く寄せられています。西会津町が今、移住先として注目されているのです。地域の担い手を増やし、その機能を維持していくためには、この移

住者の力が必要です。ですから、移住者や移住したいと思っている皆さんをぜひ応援してあげてください。私は、町には「移住者を受け入れられる風土」があると思っています。地域に住むみんなで力を合わせ、これからの西会津をつくっていきましょう。

LIFE WITH NISHIAIZU 「西会津のある暮らし」という考え方

「西会津のある暮らし相談室」は、単に移住者を増やすために設置されたわけではありません。コンセプトは、「LIFE WITH NISHIAIZU」西会津のある暮らしです。西会津にいる人も、遠く離れたところに住む人も、西会津の良さを身近に感じられるように、この相談室ではそのお手伝いをします。町に移住したい人だけでなく、町に関わりたいたい人、また、地方でやりたいことがある人や、地方に憧れを抱いている人など、さまざまな人が町を舞台に自己実現するた

めの手助けができるような場所を目指しています。

言葉では簡単な「移住」ですが、そこに踏み切るまでには、乗り越えなければならぬさまざまな壁があります。仕事、住居、友人、そして住み慣れた町を離れる覚悟など、数えればきりがありません。

「移住」は人生のターニングポイントであり、そのハードルはとて高いのです。だからこそ、移住者だけを待っても、人口の増加や地域力の維持は期待できません。これには、「西会津に関わりたい人」

や「西会津に興味を持ってくれる人」といった「町に移住はしないが町の力になろう」としてくれる人の存在がとても重要です。

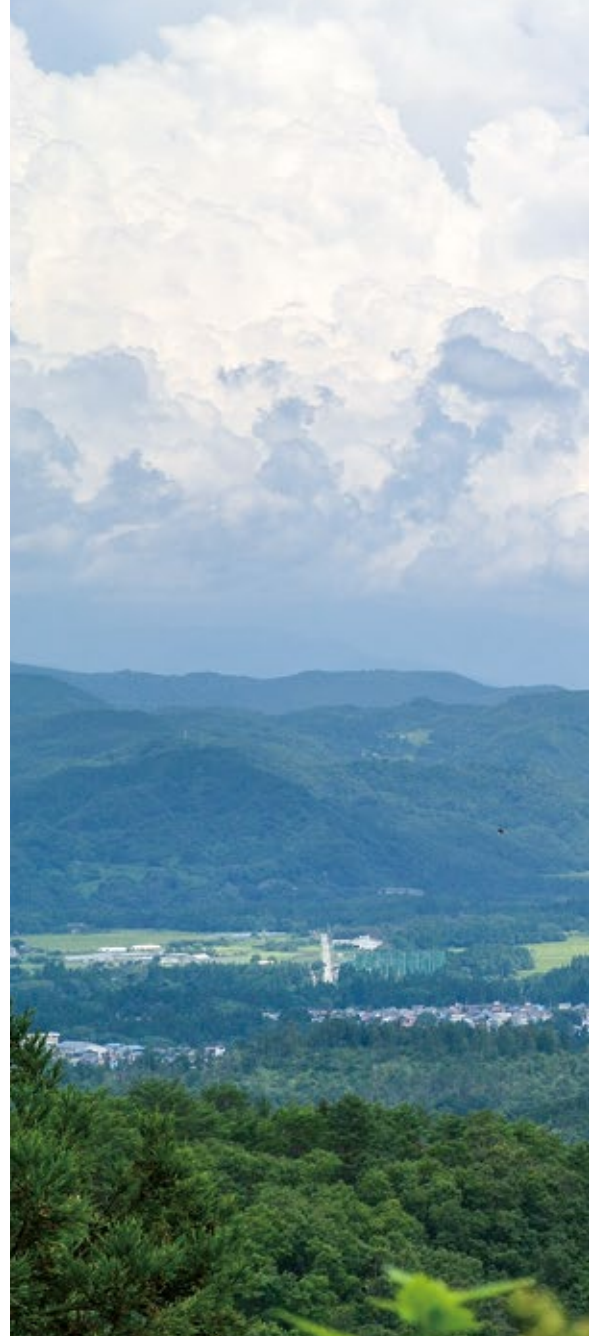
このことから、西会津のある暮らし相談室では、移住者とはもとより、二地域居住希望者や地域に関わりたいたい人、そして町に何度も訪れてくれるリピーターなども含め、それぞれの希望に合わせたオーダーメイドのコーディネートを行い、移住者の増加、交流人口の拡大、そして地域の活性化を図っています。

西会津のある暮らし 相談室が行う 3つの取り組み

①西会津総合案内窓口Ⅱ移住相談だけでなく、行政案内や仕事に関する情報提供、地域活動・イベントの紹介など、町内全てのことにに関する問い合わせに応じています。相談者それぞれのニーズに対応できるように、民間企業や町内の地域おこし団体、住民の皆さんと連携し、幅広い情報収集に努めています。

②相談受付Ⅱ移住希望者の考えと実際の暮らしの間にギャップが生じないよう、「町で生活する」とはどういうことなのかをありのまま伝えていきます。移住目的を明確にし、その上で町に居住する理由を突き詰め、田舎暮らしへの憧れだけで移住してしまうことのないようフォローしています。

③地域へのマッチングⅡ地域の文化や習わしで移住者とは異なる自治体の区長や近隣の皆さんと連携し、しっかりと地域になじむまでサポートしています。





都市部と農村、それぞれの良さをつなぐ役割を担いたい

移 住のきっかけは、仕事である造形物制作や内装工事などに必要な制作・保管場所の確保でした。東京で制作場所の問題に長年悩まされ続け、広い制作場所が欲しいといつも考えていました。加えて、東京での仕事は飽和状態で、「餅は餅屋」というようにに分業化されているため、個人が持つ多面的な能力を存分に発揮できる機会が少ないと感じていました。

その一方で、人手も企画も欲している地域では、百の商いをこしらえる百姓のように、やる気次第で挑戦的な活動ができる余地があるのではないかとという考えがありました。また、手仕事の文化が生きていること、豊かな天然資源があることも移住という選択肢に引かれた要因です。

西会津町を知ったのは今年の1月です。友人から話を聞いて興味を持ち、東京ビッグサイトで行われた移住・交流フェアに参加したところ、西会津国際芸術村をはじめ、西会津町のおしゃれで自由な気風に好感を持ちました。また、豪雪地帯の大変さをエクササイズという魅力に変えて発信するジョセササイズのように、逆境を逆手にとって挑戦する取り組みに共感し、自分にも出来ることがあるのではないかと思いました。

INTERVIEW



樋口 裕一 さん [宮野]

ひぐち・ゆういち 今年5月に移住。西会津ふるさとファンづくり協議会のスタッフとして、都市部と農村の交流を促進する事業に携わる。大阪府出身。

移住して良かったと思うことは、これまでの自分の経験を生かしながら「さまざまなことに挑戦する人たち」と協働する中で、化学変化のように新しい物事が生まれる可能性を感じていることです。また、築130年の家に住んでいるので囲炉裏などもこれから楽しみです。

実家大阪の家族は「遠くて不便だけれど応援している」と言ってくれ、また、長く住んだ東京の友人たちも「これまでの活動を考えれば納得の移住だ」と応援してくれています。私にとって西会津町に移住したことは、都会を捨てて田舎を選択したということではありません。都市部には都市部の、農村には農村の、それぞれの良さがあると思います。私は、都市部と農村が持つそれぞれの良さを「つなぐ」役割を担いたいと思っています。ヨソモノ・ワカモノ・バカモノとして、汗をかきながら会津の良さを生かした面白い取り組みを仕掛けていきたいです。

INTERVIEW



荒谷 勉 さん [芝草]

あらや・つとむ 幼少の頃から親しんでいた西会津にいつかIターンしたいと考え、息子の高校進学に合わせ決心。今年2月に埼玉県春日部市から家族で移住。

移住する前は、仕事の都合で生活が不規則だったことに加え、人や車が多くストレスを感じていました。しかし、移住して森林組合に勤めてからは、朝は日の出とともに起き、夜は早めに床に就くという規則正しい生活を送るようになりました。自然に触れるこの仕事は満足感があり、仕事終わりのビールがとてもお

いしく感じます。大きな病院が近くにないため夜間の緊急時などが心配なことと、冬季の雪が少し不安ですが、今のところ、移住したことにとても満足しています。

西会津町の皆さんは、地域のつながりを大切にし、力強く過ごされているように感じています。また、若い世代の町おこしに対する情熱と強いパワーには、元気をもらっています。

私たちも微力ながら「盛り上げ隊」として応援していきたいと思っています。



LIFE WITH NISHIAIZU

移住者の声

私

の母が安座自治区出身ということもあり、西会津町は幼少の頃から訪れているゆかりの土地です。私の転職と息子の高校進学のためのタイミングで移住を決めました。移住を決断する際は、西会津のある暮らし相談室での移住相談や空き家バンクなどのバックアップが背中を押してくれました。また、西会津高校の「少人数制で、生徒一人一人にきめ細やかな指導を行う教育方針」も移住の決め手のひとつです。

移住相談などのバックアップと西会津高校の教育方針が魅力



▲一軒家を借りて3人で暮らす荒谷さん一家。
右から勉さん、息子の圭音さん、奥さんの貴緒里さん

福島ホープス 3 連戦に沸く

西会津町は福島ホープスを応援しています！



町では、この福島ホープスを持つ「野球を通じてさまざまな望みを持つってもらう一助になりたい」という思いに賛同しています。今後も、地域と地域の子どもたちのため、町を挙げ、官民一体となり福島ホープスの活動を応援していきます。

また、福島ホープスの選手たちは、3連戦という忙しい日程にもかかわらず、8日にはロータスインのバーベキューサイトで行われた町内の子どもたちとの交流会に参加し、さらに9日には小中学生を対象とした野球教室を実施、そして10日に行われたかけっこ教室にも参加するなど、子どもたちとの触れ合いを大切にしてくれました。

昨年6月以来、約1年ぶりとなるプロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグの福島ホープス公式戦が7月8日、10日、11日の3日間に行われ開催され、プロ野球の俊敏で力強いプレーに福島ホープス西会津球場が沸きました。今回の3連戦は、残念ながらいずれも敗戦となってしまいました。10日には貴規選手、11日にはジョン・ボウカー選手が2ランホームランを放つなど、先制を許す苦しい試合展開の中でも反撃に向け一矢報いる選手たちの諦めないプレーは、観戦に訪れた子どもたちに夢と感動を与えました。



昨 年6月から整備工事を進めてきた地域連携販売力強化施設「ミネラル野菜の家」が道の駅にしあいづ・交流物産館よりつせの隣に完成し、8月2日、オープンを迎えます。これにより、ミネラル野菜やキノコ、米、加工品などの販売ブースがますます充実するほか、西会津産の食材を使用した料理を提供す

る4店舗の飲食ブースも開店します。

最初の土日となる6日と7日には、オープン記念イベントとしてさまざまな催しが行われます。ぜひご来場ください。

オープン記念イベント

「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンⅡシェフによる地元食材を使った料理の試食。6次化商品のプレゼントも(6日・午前11時～午後1時)、LIVE!西会津Ⅱ音速ラインや清野りなどアーティスト5組による音楽フェス(6日・午前11時～午後3時)、ミネラル母さんの台所Ⅱミネラル野菜かき氷の販売や祝い餅の振る舞いなど(両日・午前9時～午後1時) など。

飲食ブース紹介

ミネラル米ジロー(おいしい米と新鮮素材)、みそ家うのすけ(みそラーメン)、カフェ樫(米粉パン、ミネラル野菜サンドイッチ)、観音茶屋(十割そば)

問い合わせ先

交流物産館よりつせ

☎ 48-1512

戸籍の窓口【6月受付分】

まちの人口(7月1日現在)

		(前月比)
人口	6,834人	(-2人)
男	3,305人	(+3人)
女	3,529人	(-5人)
世帯	2,724世帯	(-1世帯)

お誕生おめでとう

坂井 瑛心くん	康司・有紀子	安座
野原 梨央ちゃん	勇一・沙織	上小島
田崎 鈴ちゃん	一正・千賀子	小杉山
上田 咲歩ちゃん	仁志・亜紀	井谷
伊藤 慎悟くん	法道・千沙	向原

お悔やみ申し上げます

沖津 スミ子(88)	明男	母	10町内
五十嵐 芳雄(93)	正人	父	芝草
渡部 隆(60)	美代子	夫	牧
伊藤 琴(98)	喜允	母	出ヶ原
齋藤 利佐子(82)	仁	母	上野尻
笠間 フシノ(94)	富夫	母	下野尻
五十嵐 正雄(95)	藤吉	父	滝坂
佐藤 雪子(79)	光孝	母	橋屋
井上 ツル(87)	静	母	新町
尾形 陽一(88)	隆文	父	新町
武藤 忠吉(77)	博	父	新町



有料広告欄【詳細は広告主に問い合わせください】

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm

◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎ 45-4536

「認定こども園」園舎新築の安全を祈願

町認定こども園新築工事の安全祈願祭が6月29日に行われ、伊藤町長と武藤道廣町議会議員が鍬(くわ)入れをし、工事の安全を祈願しました。新築する認定こども園は、子育て支援センターと放課後児童クラブを併設する保育所型の認定こども園で、町の子育て支援の拠点施設として整備し、来年4月に開園する計画です。神事後、伊藤町長は「次代を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくりのため、木のぬくもりある明るい園舎を整備します」とあいさつしました。



トライアングルの会が知事表彰受賞

町精神保健福祉ボランティア「トライアングルの会」が優良保健衛生団体知事表彰を受賞し、6月22日、前会長の柴田淳子さん(写真右)と現会長の橋谷田百合子さん(同・左)が報告のため町役場を訪れました。報告の中で2人は、「私たちトライアングルの会は、障がいを持つ人に力を貸しているというわけではなく、逆に皆さんから活力をもらい、勉強させてもらっている」と活動を振り返り、伊藤町長は「町として、これからもできる限り協力していきます」と祝意を述べました。



笑顔はじける 保育所でプール開き

本格的な夏が到来し、7月12日には尾野本保育所で、14日には野沢保育所芝草分所で、19日には野沢保育所と群岡保育所でそれぞれプール開きが行われました。プール開きを心待ちにしていた子どもたちは大はしゃぎで、カラフルな水着に着替えるとはじけるような笑顔で歓声を上げ、プールを楽しんでいました。各保育所では、これから8月下旬ごろまで、バタ足をしたり、顔を水に付けたりしながら、泳げるように練習していきます(写真は野沢保育所の様子[7月20日撮影])。



浴衣の着付けを学ぶ「暮らす部」

7月17日、西会津国際芸術村が企画する「暮らす部」の第5回講座「浴衣の着方を学ぶ会」が開催され、参加した10人が星敬介さん(上野尻)を講師に正しい浴衣の着付けを学びました。参加した皆さんは「こういった機会はあまりないので、勉強になる」と話し、きれいに着付けた浴衣姿を喜んでいました。暮らす部は、普段は見過ごしがちな田舎の生活の知恵に焦点を当て、それぞれが持っている知恵や技術を互いに教え合い、自らの生活に生かして楽しく暮らすことを目的に開催しています。





出産祝金 制度拡充後初の支給

今まで第3子以降を対象に支給していた出産祝金は、全ての子どもの出生を祝うため本年4月からその支給対象を第1子まで拡充しました。この拡充後、第1号となったのは、青木基至さん・千明さん夫妻の次男・蓮くんです。7月1日に行った出産祝金の贈呈式では、伊藤町長が「町は出産・子育てを応援していますので、頑張ってください」と青木夫妻を激励し、祝金を贈呈しました。夫妻は「子育てにはお金がかかるのでありがたい。有効に活用します」と話していました。



力作が勢ぞろい 町民美術展

町公民館では、7月16日から18日にわたり、道の駅にしあいづ・交流物産館よりっせで町民美術展を開催しました。今年の町民美術展には絵画や写真、陶芸、書道、水墨画、手芸など、町民59人による112点の力作が寄せられ、会場は、知人の作品を鑑賞に訪れた町民の皆さんや、道の駅に立ち寄った観光客などでにぎわいました。町公民館では、今後もこうした生涯学習の活動成果などを発表する場を設け、町民の皆さんの生涯学習活動を応援していきます。



流しそうめんで交流 親睦深める

移住に関する相談受付や町の暮らし案内を行う「西会津のある暮らし相談室」が7月17日、移住者などを対象に手作りで流しそうめんを行う「夏はやっぱり流しそ〜めん会」を西会津国際芸術村で開催しました。当日は、参加者が自ら竹を割って流しそうめんの台を組み、箸や器まで竹で手作りました。参加者の皆さんは、水がきちんと流れるのを確認すると歓声を上げ、台の完成を喜びました。最後は全員で流しそうめんを食べながら交流し、親睦を深めました。



夕涼み会を満喫 野沢保育所

7月9日に野沢保育所で夕涼み会が行われました。当日は、保護者の皆さんが子どもたちと一緒に仮装や浴衣姿で夕涼み会を盛り上げ、また、協力してかき氷やフランクフルトなどの露店を出店しました。子どもたちは露店のかき氷などをうれしそうに頬張った後、こゆりちゃんとの盆踊りを楽しみ(写真)、夕涼み会を満喫しました。楽しさ盛りだくさんの夕涼み会は笑顔であふれ、最後に保護者の皆さんが花火を打ち上げると、子どもたちは歓声を上げて喜んでいました。

健康づくりは朝がいちばん

町の健診を受診しましょう

皆さんは毎年の健診を受診していますか。町が実施する各種健診のうち、40～75歳未満を対象とする特定健診では、受診率が約6割で、特に40～50歳の若い世代の受診率が低くなっています。さらに、特定健診で精密検査の対象となった人は、現状では、その約半数しか精密検査を受診していません。

健診や精密検査を受診を怠ると、病気の発見が遅れ、重症化してしまう恐れがあります。自分の健康状態を知り、健やかに生活していくためにも、毎年の健診をきちんと受診しましょう。

特定健診とは

特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した、「病気の予防」が目的の健診です。メタボリックシンドロームとは、単に肥満のことをいうのではなく、内臓周りに脂肪が貯まり、加えて高血圧、高血糖、脂質異常のうち2つ以上を併せ持った状態のことをいいます。この病気は動脈硬化を進行させ、放っておくと心筋梗塞や脳卒中などの危険性が高まります。町では、特に40～50代で高血圧や脂質異常者で特定健診の「受診券」を

特定健診の対象者

町の特定健診は、国民健康保険に加入している40～75歳未満の人と、社会保険被扶養者で特定健診の「受診券」を

持っている人が対象です。国民健康保険以外に加入している場合は、加入している健康保険または勤務先に問い合わせてください。

特定健診のほか、県民健康調査、基本健診、健康診査でも特定健診とほぼ同様の検査を受けることができます。町が実施する健診は無料ですので、この機会に受診してみたいかがでしょうか。

検査項目

特定健診には、次の検査項目があります。

- ◎身長、体重、腹囲の測定
- ◎医師の診察
- ◎血圧の測定
- ◎血液検査



- ◎尿検査
- ※医師の判断で心電図検査、眼底検査、貧血検査が追加となる場合があります。

健診の受け方

町では、8月8日から8月31日にかけて総合健診を実施します。2月に実施した意向調査で「特定健診を総合健診で受診する」と希望した人には、自治区の保健指導員を通じて案内チラシと個別の受診録、受診券が入った封筒を配付しています。その封筒と尿検査の検体を持参して受診してください。また、社会保険の被扶養者で、町の特定健診の受診を希望する人は、必ず

「受診券」と「保険証」を持参してください。健診の日時と会場は自治区ごとに異なります。案内チラシをよく確認し、受診してください。

また、割り当てとなった日時以外で受診したい場合や、申し込みをしていない人が健診の受診を希望する場合は、事前に健康支援係まで連絡ください。

健診を受けたら

健診は受診して終わりではありません。結果を受けて、精密検査の受診や生活習慣を改善することが大切です。

町では、特定健診の結果から、生活習慣を改善することで生活習慣病の予防が期待できる人を対象に「特定保健指導」を実施しています。「特定保健指導」では、保健師や管理栄養士が一人一人の健康状況や生活状況に合わせて生活習慣の改善をサポートします。お気軽に活用ください。

問い合わせ先

健康福祉課・健康支援係
☎ 45-4532

調理時間
8～9分

さわやかレモンが香る 夏にぴったりのヘルシー料理♪

まるごとナスの肉巻き さっぱりレモン添え



揚げナスも
おいしいけれど、この
料理は油が少なめで
ヘルシー！



材料（2人分）

豚もも肉（薄切り）	4枚
ナス	大2個
油	大さじ1
酒	大さじ2
しょうゆ	小さじ2
レモン	¼個

作り方

- ①ナスはへたを残して皮をむき、水にさらす。
- ②ナスの水気を拭き取り、つまようじで何カ所か刺し、豚もも肉を巻く。
＊ナスに穴を開けることで火が通りやすくなり、味も染みやすくなります。
- ③フライパンに油を入れて熱したら、②の肉の巻き終わりが下になるように入れ、全体的に色よく焼く。
- ④酒を入れ、ふたをして蒸し焼きにする。
- ⑤しょうゆを入れ、表面にからめたらフライパンから取り出し、食べやすい大きさに切る（熱いのでやけどに注意）。レモンを添えて器に盛り付ければ出来上がり。

健診に向けて 食生活を見直す

今も患者が増え続ける生活習慣病は、そのほとんどに自覚症状がありません。健診の第一の目的は、そんな生活習慣病の早期発見です。

近年、過剰に蓄積された内臓脂肪が高血圧症や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の「共通の原因」であることが分かってきました。これはつまり、生活習慣病の予防には、まず肥満の予防・改善が重要だということです。

肥満を予防・改善するために次のことを心掛け、この機会に自分の食習慣を見直してみしましょう。

摂取量を減らす

- ◎ コーヒーに砂糖を入れないようにする。入れる量を半分に減らす。
- ◎ アイススクリームを控える。
- ◎ バニラアイスからシャーベットに変える。
- ◎ ドレッシングをノンオイルにする。かけずに付けて食べる。
- ◎ 茶碗を小さくする。

献立選び・調理法を ひと工夫

カロリーが低く、量も多い生野菜や海藻、キノコ類などの食材を多用すれば、食べ過ぎを防ぎつつ満足感が得ることができます。また、切り干し大根やきんぴらごぼう、食材を大きめに切った料理など、かみごたえのある料理は、そしてよく回数が増え、満腹感を早く得ることが出来ます。献立や調理法に気を配り、食べ過ぎを予防しましょう。

低 カロリー 高

衣をつけて揚げる
素揚げ
炒める
焼く
煮る
蒸す（ゆでる）

調理例

素 材	調理法	エネルギー
ナス(小) 1個 (60g)	天 ぷ ら	215kcal
	焼 き	21kcal
鶏肉(中) 3切れ (100g)	から揚げ	350kcal
	焼 き	158kcal



縄文文化って面白い！

「西会津・縄文土器展」開催中



西会津国際芸術村が主催し、町教育委員会が共催する「西会津・縄文土器展」が西会津国際芸術村で開催中です。

「西会津・縄文土器展」では、町内で確認された遺跡のうち、縄文中期から後期（約5500年前から約3200年前ごろ）の遺跡だと考えられている芝草・小屋田遺跡と上小島遺跡から出土した土器や土偶など約40点が展示されています。

町内からは、信濃川水域の火焔土器と県中通り地方で出土した縄文土器の特徴を併せ持った土器が多く出土していますが、中には会津地方独特の装飾を持つ縄文土器も出土しています。

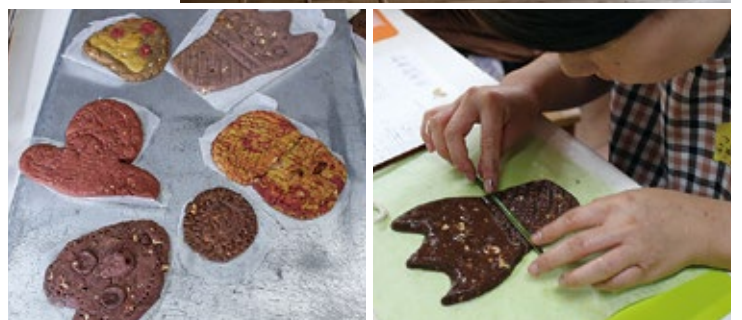
展示は9月4日まで行われています。個性豊かな縄文土器を鑑賞しながら、遙か昔の人々の豊かな暮らしに思いをはせてみてはいかがでしょうか。

▶ 縄文の音の森展。自然の音が木造の教室にこだまし、幻想的な空間を演出



また、西会津国際芸術村では、森のはこ舟アートプロジェクト2016西会津エリアプログラムのひとつとして、「縄文の音の森展」を同時開催しています。町内の自然の音を録音し、縄文人が聞いていたと思われる音を表現するこの展示は、「音楽」という表現のもとである「音」そのものを、縄文人がどのように捉えていたのか、想像力をかき立ててくれます。ぜひ併せてお楽しみください。

開催初日となった6月25日



▲土器模様のクッキー「土クッ器ー」づくりの様子

には、縄文土器模様のクッキー作り「土クッ器ーつくろ」が開催され、町内外から約20人の親子連れなどが参加しました。参加した皆さんは、思い思いの模様を付けながらクッキー作りを楽しみ、縄文人の土器作りに想像をめぐらせました。

◎問い合わせ先

町公民館 ☎45-3244
西会津国際芸術村

※月・火曜定休、そのほか臨時休館日あり
☎47-3200



鈴木 賢治 さん [山口]

水野 知恵 さん (7月号) からメッセージ

家族ともどもお世話になっています。これからもよろしくお願いします。

趣味は？

山歩き(日帰り登山)

あなたのモットーは？

全世界が幸福にならないうちは、個人の幸福はあり得ない

これからやってみたいことは？

某テレビ局で放送している「人生の〇〇」のような「新しい生活」で人生の質を高めたい

町民

バトンタッチ

自分を一言で表現するとしたら？

中庸

熱中していることは？

入手困難な日本酒を味わうこと

最近感動したことは？

わが家の裏に生えてきた真竹が2週間で約10メートル伸びたこと

次の方を紹介してください

T・Sさん(下野尻)

宝物は？『新築する際に取り壊した居宅の百年祭の覚書。昨年新築した小宅は、200年ぶりの新築であることが判明しました』



聞いて！ わたしの夢

卓球部 部長

渡部 名央 さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。今月は3年・渡部名央さんです。

わたしの夢——

「私の将来の夢は、看護師です。きっかけは修学旅行の自主研修で行った東京医療学院大学でした。そこで医療についてのさまざまなことを学び、また、命の重みを感じました。一人でも多くの患者さんを助けられるような、笑顔あふれる看護師になりたいです」

努力していること——

「学校で行っている『自主勉ノート』のほかに、自分で『受験ノート』を作り毎日勉強しています。まずは志望校に合格できるよう、頑張りたいです」

未来の自分に一言——

「看護師の仕事はとても大変で、つらいことも多いと思うけれど、やりがいがあると思います。途中で諦めたりせず、前向きに頑張ってください」



町民

ギャラリー

今月は、絵画クラブ

佐藤 敏枝 さんの作品です。

作品名『小野川不動滝』
作品紹介『裏磐梯にある小野川不動滝の迫力に感動し描きました。緑の中を勢いよく流れる迫力を表現するのに苦労しました』



飯豊本山、御西岳、最高峰の大日岳まで

飯豊の雄大な自然美を採勝



7月22日から24日の日程で開催された第54回いいでの集いには、町内をはじめ、遠くは青森県や岡山県などから54名の登山愛好者が参加し、飯豊連峰の雄大な山岳自然美を満喫しました。

初日は弥平四郎登山口から疣岩山、三国岳を越え切合小屋までを、2日目は参加者それぞれの体力に合わせて切合小屋から飯豊本山、御西岳、そして飯豊連峰の最高峰・大日岳までを採勝しました。

今回の「いいでの集い」は天候に恵まれ、宿泊した切合小屋からは2日目と3日目の両日で眼下の雲海をだいたい色に染める見事なご来光を眺望することができました。長年いいでの集いをサポートしている西会津山の会の皆さんは、「今年は宝くじに当たったような天気だ」と話していました。



恒例の「いいでの王様・女王コンテスト」では、河邊達哉さん(左)が王様に、鈴木壽子さん(右)が女王に選ばれました



今月の表紙

今月の表紙は、平成26年に地域おこし協力隊として町に移住した横山萌美さんのお気に入りスポット、弥生自治区の小さな滝です。この滝もしかり、町にある資源をあらためて見返すと、良いものがたくさんあります。皆さんが思い浮かべる「西会津のお気に入り」は何ですか。

編集後記

どうなることかと思った「いいでの集い」でしたが、無事に帰ってくるのができ、ほっとしています。訳もなく笑う膝を何とかこらえ、3日間歩き通しました。しかし、あんなに歩いたのに、出掛ける前と体重は変わっていませんでした。がっかりです。

情報政策係 長谷川祐一

お詫びと訂正

7月号の「こちら西会津交番」で紹介した佐東由樹巡査の「東」の字が「藤」となっていました。お詫びして訂正します。